



編集・発行  
大阪府立  
呼吸器・アレルギー医療センター  
大阪府羽曳野市はびきの3丁目7-1  
TEL: 072-957-2121  
FAX: 072-958-3291  
HP: <http://www.ra.opho.jp>  
E-mail: [kokyuacen@ra.opho.jp](mailto:kokyuacen@ra.opho.jp)



## 当センターの扱う呼吸器・アレルギー病の診断と治療の進歩 ～肺結核～

医務局長 かわはら 河原 くにみつ 邦光



医務局長の河原です。いつも当センターをご利用頂きありがとうございます。当センターも来月からはいよいよ、特定地方独立行政法人から一般地方独立行政法人に移行し、職員も非公務員化の形となります。もちろん、非公務員化と言いましても、当センターが完全に民営化する訳ではなく、今まで通りに、公的な性格を有した呼吸器・アレルギー病の高度医療センターとしての使命を果たしてまいりますので、今後も変わらぬ御理解と御支援の程をお願い致します。

今回は肺結核についてお話をさせていただきます。平成21年に若い芸能人が結核にかかったことは、皆さんも記憶に新しいと思います。結核は一般的に過去の病気と思われがちだったので、驚かれた人も多かったようです。しかしながら、全世界を見ると、結核は、今なお、死亡原因の10位以内に常に入っています。本邦では、第二次世界大戦の後の社会状況の改善に伴い、結核は発病者数・死亡者数ともに減少しました。しかし、1990年代後半には、本邦でも罹患率(人口あたりの発生数)が戦後初めて増加したため、1999年には厚生労働省から結核緊急事態宣言が出されました。それ以降は、結核の罹患率は減少を示してはいますが、呼吸器診療に携わっている我々にとしましては、常にその存在を意識しておかなければならない手強い病気です。

実は、結核菌は、感染しても、多くの人は発病しません(これを不顕性感染といいます)。この時期は周囲に感染させる危険はなく、薬だけで完全に治癒します。しかしながら、発見が遅れると、肺に穴があいて、痰の検査で結核菌が同定されます。この際には、周囲の人にも感染させる可能性があり、入院し、薬を飲むことが必要になります。当センターにおける結核診断の特徴は、この痰からの結核菌の検出率が高いことと、迅速に結核を診断出来ることです。特に、後者については、新しい検査法である液体培地法の導入が、過去に40日程度かかっていた結核の確定診断を数日に短縮するに至っています。また、結核治療も極めて効果的に実施され、治療薬の内服はDOTSと呼ばれる方法で徹底され、これが効果を上げています。もし、結核に感染された場合には、是非当センターを受診して下さい。満足のゆく高いレベルの診療が受けられることを保証致します。

## 白癬と白癬疹

皮膚科診療主任

はらだ 原田 じゅん 潤



白癬(水虫)とは、カビの1種である白癬菌が、皮膚の角質層で増殖して起こる感染症です。頭皮や手、陰部など様々な場所に感染しますが、その9割は足に感染します。足白癬は日本人

の5人に1人がかかっていると言われており、非常にポピュラーな病気です。

足の白癬は足白癬と爪白癬の2つに大きく分かります。足白癬では、足の間が赤く爛れたり、角質が増殖して粉を吹いたりするパターンが多く、爪白癬では爪が白く濁って分厚くなります。白癬を疑ったら、表面を擦って、顕微鏡で菌が居ないかどうかを確認します。



治療は、足白癬の場合は塗り薬(抗真菌薬)、爪白癬の場合は塗り薬だけでは治りにくいため、飲み薬も併用します。塗り薬は1日1回外用して、良くなるまでに2週間~1か月、見えなくなっても長く塗り続けた方が再発しにくいと言われています。爪白癬の治療には、爪が生え変わるまでの3~6か月程度の時間が必要です。

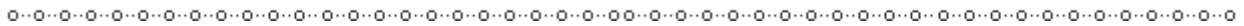
白癬菌は汚れや高温多湿の状態を好むため、予防には毎晩入浴して足や体を清潔にし、汗をこまめに拭く事が大事です。また5本指靴下も良いと言われています。糖尿病の人は水虫にかかり易いため、より注意が必要です。

白癬疹は聞きなれない病名だと思いますが、白癬に対するアレルギー反応で、白癬菌やその代謝産物に対して体が過敏に反応してしまう状態です。小さい水疱が主に手の平に出てくる病気で、その部位からは菌を認めない事が特徴です。原発巣の白癬の治療に加えて、ステロイドの外用や内服を行います。

これから、水虫が活発に活動する時期がやってきます。きれいな足で、楽しい夏をエンジョイしましょう！

### <放射線科 MRI 検査 その2>

放射線科 藤井 ひとみ

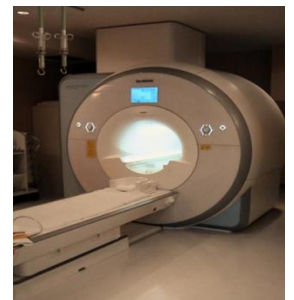


前回のMRI検査その1で、MRIは撮影中に工事現場のような大きな音が鳴ると説明いたしましたが、これはMRIでは画像を作るために装置の中のコイルの電源をONにしたりOFFにしたりするため振動が生じてしまうからです。そのため画像を作るためにはこの音を消すことができませんが、検査時はなるべくリラックスしていただけるような環境づくりに努めております。

MRIは磁石を使って検査を行っているため、体を縦・横・斜めといったあらゆる方向から体の中を観察でき、さまざまな種類の画像を作ることができます。そのため造影剤という薬を使わなくても血管を描出できたり、急性期の脳梗塞の検出、関節や靭帯などのわずかな炎症や損傷も捉えることができます。検査時間は部位や撮像内容によって異なりますが、少し時間をかけることによって詳細な画像を提供することができます。

当院では年末にMRI装置の更新を行い、今年の1月から新しいMRI装置を使って検査を行っております。そのため今まで以上に高精度で精密な画像を得られるようになりました。

みなさまに安全に、そして安心して検査を受けていただけるよう取り組んでおります。



### 3月の教室案内

- |          |                 |          |          |
|----------|-----------------|----------|----------|
| *カンガルー教室 | ● 3月5・12・19・26日 | 午後1時~    | 第1会議室    |
| *禁煙教室    | ● 3月6日          | 午後3時30分~ | 医療情報コーナー |
| *喘息教室    | ● 3月20日         | 午後2時~    | 第2会議室    |